学校番号	3022

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ（理系）	単位数	2	年次	3
使用教科書	「精選古典Ｂ　古文編」「精選古典Ｂ　漢文編」（東京書籍）						
副教材等	体系古典文法（数研出版）、核心古文単語351（尚文出版）、新明説漢文（尚文出版）、センター試験国語過去問題（尚文出版）、ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ

・１、２年次に学習した文法事項や句法・句形を復習し、正しく理解しましょう。
・それらに基づいて、自ら読み解いていく力、古典に親しむ心を培いましょう。
・様々な時代やジャンルの古文を読み、人間、社会、自然について考え、自らの知見を広げ、思考力や想像力を伸ばしていきましょう。そうして自己の内面を成長させましょう。

2　学習の到達目標

・古典に表れている、人間や社会、自然などに対するものの見方や考え方を的確に読み取ることができる。
・古典の文章を通して自身のものの見方や考え方を広げ、思考力や想像力を伸ばすことができる。
・古典の背景となっている文化・歴史への理解を深め、古典に親しむ態度や、伝統、文化を尊重する態度を育む。
・古典への関心を一層深め，それによって自己の内面を見つめ発展させ、人生をより豊かにしていこうとする態度を育む。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（提出物、ワークシート等）			・記述の確認（提出物、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（提出物、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			関	話	書	読	知		
1学期	古文の物語を読む	落窪物語 「姫君の苦難」 源氏物語 「車争ひ」 「母と子の別れ」	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d. 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e. 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト
	様々な漢文を読む	老子 「大道廃、有仁義」 「人之生也、柔弱」 韓信伝 「背水陣」	○			◎	○	a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 行動の観察
	古文の和歌を味わう	正徹物語 「亡き人を恋ふる歌」	○			◎	○	a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 定期考査
2学期	和歌を味わい理解する	無名抄 「おもて歌のこと」 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 記述の確認
	漢文の物語を読む	小説「離魂記」	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d. 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e. 漢語や漢文訓読の文体が，現代においても国語による文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 記述の確認

	問題演習	センター過去問演習	○			◎	○	a. 文学的な文章及び論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 d. 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e. 読むことに必要な文章の組立てや語句の意味について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認及び定期考査 e. 定期考査
3学期	問題演習	センター過去問演習 記述問題演習	○			◎	○	a. 文学的な文章及び論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 d. 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e. 読むことに必要な文章の組立てや語句の意味について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認及び定期考査 e. 定期考査

※ 表中の観点について　関…関心・意欲・態度　話…話す・聞く能力　書…書く能力
読…読む能力　知…知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※ その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）関わる観点には◎を付している。